

スイッチング支援システムに適用するソフトウェアのバージョンアップ作業に係る業務委託の実施について（案）

1. 本委託の概要

スイッチング支援システム（以降、本システムと記載。）に対する運用保守業務にて実施している定期的な安定性向上検討の結果、バージョンアップが必要なソフトウェアが確認された。これを受け、より安定したシステム運用を行うため当該ソフトウェアのバージョンアップ作業を実施する。なお、契約締結時は別途理事会に付議する。

2. 調達方法

（1）調達先選定：随意契約

【理由】

本システムは安定・確実な業務遂行が必要とされており、ソフトウェアバージョンアップには本作業による本システムへの影響に関する深い知識が必要であるため、本システムの現在の保守・運用先以外からの調達が困難である。そのため、会計規程第23条第1項第1号の規定に基づき、随意契約としたい。

（2）調達予定先：富士通株式会社

（3）契約期間：2026年4月1日～2026年7月31日（予定）

表 委託概要

件名	スイッチング支援システムに適用するソフトウェアのバージョンアップ作業に係る業務委託
目的	スイッチング支援システムで利用しているソフトウェアをバージョンアップすることで本システムの安定性を向上するため。
委託内容	実地調査、計画、適用作業、運用テスト
委託先	富士通株式会社
契約期間	2026年4月1日～2026年7月31日（予定）
契約形態	請負

以上

【添付資料】

別紙：スイッチング支援システムに適用するソフトウェアのバージョンアップ作業に係る業務委託仕様書

※別紙は「情報管理規程」第4条（情報の格付の区分）の規定に基づく秘密情報に該当するため非公表とする。